

お仕事のある方を支援する「オーバーナイト透析」

ポイント

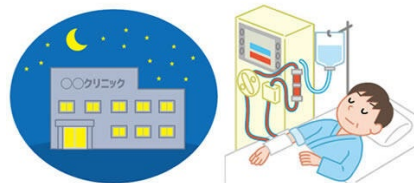
1. オーバーナイト透析とは、長時間透析の一種である
2. 通常の4時間透析は多くの患者さんにとっては透析不足である
3. オーバーナイト透析は夜間睡眠中に行うため、お仕事のある患者さんに有益である
4. オーバーナイト透析は経営コストの問題のため、実施施設は少ない

オーバーナイト透析とは

オーバーナイト透析とは、**夜間の睡眠時間を利用して行う長時間の人工透析治療**です。夜間睡眠中に透析を行うので、日中は透析によって時間を制限されることはありません。

オーバーナイト透析は長時間透析の一つであり、約6～8時間かけて行われます。通常の4時間透析というのは、超高齢者以外の方には透析不足であることが分かっています。**長時間透析はより多くの血液中の毒素を除去できます**ので、患者さんの健康にとってプラスとなります。通常の保険診療で行うため、追加料金も発生しません。

オーバーナイト透析は、透析を受けながらも仕事や趣味、家族との時間を大切にしたいと考える患者さんにとって、有望な選択肢です。



腎臓科

オーバーナイト透析の利点と欠点

利点	<ul style="list-style-type: none">• 日中の時間を有効に使える• ゆっくり除水するので、体への負担が少ない• 合併症の予防が期待できる• 食事制限の緩和が期待できる
欠点	<ul style="list-style-type: none">• 神経質な人の場合、眠れない可能性がある• 重度の合併症がある方は受けられない

オーバーナイト透析の現状と課題

オーバーナイト透析は、**お仕事をされている患者さんには特にお勧め**です。仕事を制限せずに透析が受けられますし、長時間透析のため、働き盛りで食欲もある患者さんの溜まった毒素を多く除去できます。

アクセスが便利な都市部の透析施設では、オーバーナイト透析を実施しているところもあります。ただし、**夜間に勤務するスタッフの確保やコストの問題などがあり、実施できる施設は限られています**。

労働人口が減る中、**透析治療を理由に仕事を制限する**のは国にとっても個人にとっても良いことではありません。オーバーナイト透析を実施できる施設が増えることが望まれます。

